

山口県指定無形民俗文化財

安田の糸操り人形

伽羅先代萩 御殿の段

未来へ繋がる

共同公演

絵本太功記 尼ヶ崎の段

出雲の糸操り人形



出雲と柳井に遺る古い人形を同時展示

令和元年 **8月4日(日)** 開演 / 13:00

会場 周南市安田562-2 三丘市民センター(徳修館) 大ホール

出演 出雲糸操り人形保存会 安田の糸あやつり人形芝居保存会

お問い合わせ: 三丘市民センター TEL 0833-92-0177

後援: 山口県 / 山口県教育委員会 / 周南市 / 周南市教育委員会



未来へ繋がる共同公演

vol.4

令和元年
8月4日 13時～15時

近隣の人形浄瑠璃との共同公演は四年目を迎えます。これまでに、三人遣い、二人遣い、串人形と、異なった様式の面白さを体験していただきました。
今年度は、安田の糸操り人形芝居のルーツに関わる出雲市と柳井市に遺る人形をお借りして展示し、共同公演には出雲系操り人形保存会をお招きします。出雲系操り人形保存会は、「大社糸操り人形」を復活させるべく、

出雲の糸操り人形芝居

出雲の糸操り人形芝居は、江戸時代から昭和の初めにかけて、出雲大社の門前で盛んに行われていましたが、戦後になって途絶え、人形だけが残っていました。
そうした中、かつて大社門前町にあった人形芝居を復活させたいという機運が俄に起こり、出雲市を挙げて保存継承していくために平成二十八年に「出雲系操り人形保存会」が発足しました。そして三十年二月には、出雲市大社文化プレイスで復活プレ上演を実現させました。



この度、出雲に現存する人形を元に絵本太功記に登場する六体すべての人形を保存会のメンバー自らの手で製作し完成させました。今年度、いよいよ復活公演を行います。

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段

明智光秀（劇中では武智光秀）の母・皐月（さつき）は謀反人となった我が子が許せず、尼ヶ崎の閑居で暮らしています。そこへ、光秀の妻・操と一子・十次郎の許嫁・初菊が訪れ、そして旅僧に姿を変えた羽柴秀吉（劇中では真柴久吉）、さらに物陰には、旅僧の正体を見破った光秀と関係する人が次々と集まります。

そこへ十次郎が、祖母に初陣の許しを得ようとやってきました。皐月は初陣を許し、討ち死にを覚悟した孫へ心残りのないようにと初菊との祝言も挙げるように命じます。祝言の後十次郎は、攻め太鼓の音に死を決して出陣します。
本日の上演は、ここからとなります。皐月に一番風呂を勧められた旅僧は、湯殿に入ります。
光秀は「絶好の機会！」と竹槍を湯殿へ突っ込みますが、光秀が突き刺したのは…



自前で人形や舞台道具を精力的に製作されています。
諸説ありますが、安田の糸操り人形芝居は、幕末期に出雲大社へ参拝したある若者が、芝居小屋で上演されていた糸操り人形を見てその様式を持ち帰り、柳井周辺に広めた「出雲系糸操り」の流れをくむものではないかとも言われています。どうぞお楽しみください。

安田の糸操り人形芝居

安田の糸操り人形芝居は、江戸時代末期に四国、阿波徳島の藍染め商人、松尾某が、安田の市で、商いの傍ら人形を手作りして村人に浄瑠璃を教え伝えたのが起源とされています。戦後、昭和二十一年に保存会が結成され（三丘三和会）、昭和五十一年には、五本の糸で操る人形芝居が山口県無形民俗文化財に指定されました。
会員は、現在十三名。平成七年にスタートした三丘小児童への指導も二十五年目を迎えます。



伽羅先代萩 御殿の段

仙台藩伊達家のお家騒動を題材に、若君を守る乳母政岡の苦闘を中心に描いた時代物の名作です。奥州五十四郡の盟主の座に就いた幼い鶴喜代君。この若君を毒殺し、お家乗っ取りを企む陰謀が渦巻いています。
自ら茶釜を使って食事を作り若君を必死に守ろうとする政岡。その気持ちを汲み空腹をこらえる若君と政岡の子・千松。教えを守り辛抱を重ねる健気さが胸を打ちます。



そこへ見舞いと称して悪人の一味である梶原景時の妻・栄御前が、鶴喜代君に毒菓子を持参します。栄御前が若君に菓子を食べさせようとすると、母・政岡のかねての教えを守り、千松が駆け出し菓子を口にします。たちまち苦しみ出した千松を、のっとり一味の八汐は企てが露見しないように刺し殺してしまいますが、政岡はそれに動じることなく鶴喜代君を守るのです。
そして一人残された政岡は…

会員募集

周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会（三丘三和会）

毎週火曜日夜、三丘市民センター（三丘徳修館）にて稽古をしています。是非一度、お気軽に見学にお越し下さい。一同お待ちしております。

